

## 第42回日本血液事業学会総会プログラム

PL

### 総会長講演

第2日目：10月3日（水）13:10～14:00 第1会場

#### 血液事業の持続と変革

演者：中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

座長：高橋 孝喜（日本赤十字社血液事業本部）

**SP1****特別企画 1****第1日目：10月2日（火）13：10～13：40 第1会場****人道と血液事業—近衛社長からのメッセージ**

演者：田中 康夫（日本赤十字社事業局国際部）

座長：中島 一格（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

**SP2****特別企画 2****第1日目：10月2日（火）13：50～15：50 第1会場****改善活動本部長賞候補演題**

座長：中川 國利（宮城県赤十字血液センター）

千葉 広一（日本赤十字社血液事業本部）

①製剤課における原料・資材の正確な在庫管理及び保有在庫のスリム化を目指した改善について

間賀田隆秀（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

②指さし呼称推進（キャンペーン等の実施）によるキット減損の削減

木林 典之（愛知県赤十字血液センター）

③誕生！指さしチェックアーズ！—九州ブロックから指さし呼称の風土化を—

田中 翔（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

④医療機関との連携強化に向けた取り組みについて

村田 諭（北海道赤十字血液センター）

⑤血小板要請リストの電子化に伴う20単位率向上プログラム

奈良 和幸（北海道赤十字血液センター）

⑥新規献血団体開拓に向けての未開拓マップの作成及び活用について（新規取組）

森本 実（大阪府赤十字血液センター）

尾田木雄亮（大阪府赤十字血液センター）

⑦パンフレットを活用した献血者の健康管理について

佐々木 純（岩手県赤十字血液センター）

⑧所内における医薬情報に関連した基礎知識の再確認—おなやみ相談室—

佐藤 勇人（山形県赤十字血液センター）

## SP3

## 特別企画 3

第2日目：10月3日（水）8:50～10:10 第1会場

## ブロック血液センター所長推薦優秀演題

座長：牟禮 一秀（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

藤村 吉博（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

## 【北海道ブロック】

血液製剤発注システムの導入状況と今後の利用促進について

三浦 晃（北海道赤十字血液センター）

## 【東北ブロック】

「杜の都献血ルーム AOBA」における相手に寄り添うことばでの呼びかけについて  
—「DJ 献血マン出動」—

熊谷 永遠（宮城県赤十字血液センター）

## 【関東甲信越ブロック】

医薬情報担当者が輸血療法委員会へ参加することの効果

—中規模医療機関の赤血球製剤廃棄率減少—

平林 盛人（長野県赤十字血液センター）

## 【東海北陸ブロック】

赤血球製剤への抗原情報の付加率 100%に向けての業務改善

深谷 陽子（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

## 【近畿ブロック】

献血セミナー中学生 9460 人のアンケートから

藤田 嘉秀（兵庫県赤十字血液センター）

## 【中四国ブロック】

婚活のノウハウをイベント集客に取り込む

藤倉 溫（徳島県赤十字血液センター）

## 【九州ブロック】

新たな献血推進の取り組み—固定施設からのアプローチ—

大山 実花（鹿児島県赤十字血液センター）

SP4

---

特別企画 4

---

第2日目：10月3日（水）16：10～17：10 第2会場

---

**土地の魅力を味わう－山梨のワインの魅力－**

演者：新田 正明（勝沼ワイナリーマーケット／新田商店 代表）

座長：杉田 完爾（山梨県赤十字血液センター）

SL1

---

特別講演 1

---

第2日目：10月3日（水）10：20～11：10 第1会場

---

CAR-T 細胞療法－新しいがん治療の夜明け－

演者：小澤 敬也（自治医科大学名誉教授、客員教授）

座長：椿 和央（日本赤十字社中四国ブロック血液センター）

SL2

---

特別講演 2

---

第3日目：10月4日（木）9：00～9：50 第2会場

---

AIの進歩－AIは医療を変えるか？－

演者：松尾 豊（東京大学大学院工学系研究科）

座長：高松 純樹（日本赤十字社血液事業本部）

## EL1

## 教育講演 1

第1日目：10月2日（火）13:50～14:50 第2会場

## HLA適合血小板の輸血効果について

共催：湧永製薬株式会社

演者：藤井 伸治（岡山大学病院血液腫瘍内科・輸血部）

座長：池田 和眞（岡山県赤十字血液センター）

## EL2

## 教育講演 2

第1日目：10月2日（火）11:00～11:50 第3会場

## 健康的な業務パフォーマンスを発揮するために－アンガーマネジメントの視点から学ぶ－

演者：阿井 優子（一般社団法人日本アンガーマネジメント協会トレーニングプロフェッショナル）

座長：塩原信太郎（石川県赤十字血液センター）

## EL3

## 教育講演 3

第1日目：10月2日（火）16:10～17:00 第3会場

## 血液型の歴史－血液型の発見と意義－

演者：内川 誠（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

座長：谷 慶彦（大阪府赤十字血液センター）

## EL4

## 教育講演 4

第2日目：10月3日（水）14:20～15:10 第1会場

## 血液事業運営の変革に向けて

演者：中西 英夫（日本赤十字社血液事業本部）

座長：入田 和男（日本赤十字社九州ブロック血液センター）

## EL5

## 教育講演 5

第2日目：10月3日（水）9:00～10:00 第3会場

Freeze-Dried Plasma and Cold Stored Platelets: Old and New Approaches for Hemostasis (凍結乾燥血漿と低温保存血小板：止血の最新動向について)

共催：テルモ BCT 株式会社

演者：Susanne Marschner, Ph. D. (Terumo BCT Inc.)

座長：浅井 隆善（千葉県赤十字血液センター）

## EL6

## 教育講演 6

第2日目：10月3日（水）14:10～15:10 第3会場

Improvement of Bacterial Testing with Delayed Sampling and Increased Volume: A Canadian Experience (カナダにおける細菌検査の向上の検討：サンプリングの時間および容量増による向上)

共催：ビオメリュー・ジャパン株式会社

演者：Dr. Sandra Ramirez-Arcos (Canadian Blood Services)

座長：松林 圭二（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

## EL7

## 教育講演 7

第3日目：10月4日（木）10:30～11:20 第1会場 A

## 品質リスクマネジメント

演者：村山 浩一（株式会社イーコンプライアンス代表取締役）

座長：清水 博（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

## SY1

## シンポジウム 1

第1日目：10月2日（火）9:50～11:50 第1会場

## 医療制度の変革と医療技術の進歩に血液事業はどのように向き合うか

座長：河原 和夫（東京医科歯科大学大学院政策科学分野）

北井 曜子（日本赤十字社血液事業本部）

①病院医療はどこに向かっているのか

猪口 雄二（公益社団法人全日本病院協会／医療法人財団寿康会）

②地域医療構想・医療計画による医療界の変化と、これが急性期・輸血医療に及ぼす影響について

今村 知明（奈良県立医科大学公衆衛生学講座）

③肝切除における輸血：自己血貯血の意義

柳野 正人（名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科学）

④医療政策の変更が血液事業に及ぼす影響について

河原 和夫（東京医科歯科大学大学院政策科学分野）

## SY2

## シンポジウム 2

第1日目：10月2日（火）16:00～17:30 第1会場

## 献血者と患者をつなぐ“キズナ”

座長：藤崎 清道（神奈川県赤十字血液センター）

松崎 浩史（福岡県赤十字血液センター）

①受血者友の会の活動状況について—10代受血者がつなぐ献血のキズナ—

小松尾麻衣（鹿児島県赤十字血液センター）

特別発言：川上 友里（鹿児島 受血者友の会／鹿児島県立甲南高校）

②輸血経験者やその家族の声を届ける—広報活動・献血セミナー参加から—

大谷 茜（神奈川県赤十字血液センター）

③献血ルームで“つなぐ献血のキズナ”—献血者の気持ち—

東保 一葉（山梨県赤十字血液センター）

④LOVE in Letter—受血者と献血者を繋ぐ—

近藤 勇気（千葉県赤十字血液センター）

⑤輸血を受けた患者の声を集める取り組み：MRとして

小田 秀隆（福岡県赤十字血液センター）

## SY3

## シンポジウム 3

第1日目：10月2日（火）10:00～11:50 第2会場

## 血液事業の未来を拓く新規事業と研究開発

座長：日野 学（日本赤十字社血液事業本部）

永井 正（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

①日本赤十字社中央血液研究所での取り組みについて

柴 雅之（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

②再生医療・細胞治療で使用される細胞の増幅に添加する血小板溶解液 (Platelet lysate) の調製方法と評価の検討

若本志乃舞（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

③不死化細胞株を用いた赤血球の人工生産と検査用血球試薬作製の試み

栗田 良（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

④アレルギー性輸血副作用の原因究明に向けた新たな試み

平山 文也（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

⑤次世代事業企画検討委員会での新規事業展開の検討状況

日野 学（日本赤十字社血液事業本部）

## SY4

## シンポジウム 4

第1日目：10月2日（火）15:00～17:00 第2会場

## 供給体制の変革－医療機関との連携－

座長：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

佐藤 純一（茨城県赤十字血液センター）

①「医療機関対応部会／適正供給委員会」委員長より

保坂 勇一（日本赤十字社血液事業本部）

②厚生労働省研究班での合理的な供給体制の検討

田中 朝志（東京医科大学八王子医療センター輸血部）

③小笠原の blood rotation の現状と課題

藤田 浩（東京都立墨東病院輸血科）

④供給管理システムの開発と導入について

渡辺 隆之（公益財団法人献血供給事業団）

⑤将来に向けての提案：Transfusion Chain を活かす

－トレスアビリティと供給、運ぶからつなぐへ－

紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

## SY5

## シンポジウム 5

第2日目：10月3日（水）15：20～17：20 第3会場

## 血液事業の国際協力—総括と展望—

座長：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

草山 淳子（日本赤十字社血液事業本部）

① The Outcome of the Cooperation between Lao Red Cross and Japanese Red Cross, in supporting Lao Blood Program, during the past 20 years (ラオスの血液事業支援にかかるラオス赤十字社と日本赤十字社の20年間の協力の成果について)

Chanthala Souksakhone, MD (National Blood Transfusion Centre, Lao Red Cross)

②モノクローナル抗体作製支援について

豊田 智津（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③ネパールへの血液事業支援について

草山 淳子（日本赤十字社血液事業本部）

④ International activities of the Australian Red Cross Blood Service (オーストラリア赤十字血液サービスの国際活動について)

Dr. Peta M Dennington (Australian Red Cross Blood Service)

⑤国際協力の総括と将来的な在り方

佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

## SY6

## シンポジウム 6

第3日目：10月4日（木）9：00～10：20 第1会場 A

## 血小板輸血の安全確保対策

座長：面川 進（秋田県赤十字血液センター）

大西 一功（日本赤十字社東海北陸ブロック血液センター）

①血液製剤の感染症対策の世界的な情勢

佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

②血小板製剤中の細菌の増殖動態

名雲 英人（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

③病原体低減化の新たな技術の開発

阿部 英樹（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

④輸血の現場における安全確認の重要性とその限界

長村登紀子（東京大学医科学研究所附属病院セルプロセッシング・輸血部）

SY7

## シンポジウム7

第3日目：10月4日（木）9:00～10:30 第1会場B

## 血液事業のBCP－今、首都直下地震が発生したら！－

座長：伊藤 孝（日本赤十字社東北ブロック血液センター名誉所長）

加藤 恒生（東京都赤十字血液センター）

①東日本大震災から学んだこと

伊藤 孝（日本赤十字社東北ブロック血液センター名誉所長）

②その時、血液事業本部はどう動く

宮本 行孝（日本赤十字社血液事業本部）

③その時、ブロックセンターはどう動く

脇谷 勇次（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

④その時、地域センターはどう動く

染谷由美子（東京都赤十字血液センター）

⑤BCPという誤解！

副島 一也（ニュートン・コンサルティング株式会社代表）

## WS1

## ワークショップ1

第2日目：10月3日（水）9:00～10:30 第2会場

## 採血部門の人材育成—求められる役割と課題—

座長：國井 典子（東京都赤十字血液センター）

川口 泉（広島県赤十字血液センター）

①関東甲信越ブロック人材育成プログラムの導入状況と展望

小林 智子（新潟県赤十字血液センター）

②求められる血液事業の看護師教育

荒木あゆみ（日本赤十字社血液事業本部）

③国際協力の現状と人材確保

柴田 玲子（日本赤十字社血液事業本部）

④認定看護師（アフェレーシスナース、自己血ナース）の活動と課題

佐藤 恵子（神奈川県赤十字血液センター）

⑤認定インタビューアーの活動報告

河野 智子（神奈川県赤十字血液センター）

## WS2

## ワークショップ2

第2日目：10月3日（水）14:10～16:00 第2会場

## 血液型検査の進歩と課題

座長：津野 寛和（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

石丸 健（日本赤十字社血液事業本部）

①日本人における各血液型遺伝子の背景

小笠原健一（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

②遺伝子検査導入の利点と課題

伊藤 正一（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

③輸血検査に有用な抗体開発のための遺伝子組換え技術

飛田隆太郎（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

④抗体同定検査への新しいアプローチ

宮崎 孔（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

⑤次世代シーケンサーと検査の進歩

東 史啓（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

## WS3

## ワークショップ3

第2日目：10月3日（水）16:00～17:20 第4会場

## ドナーケアーより安全な献血に向けてー

座長：石丸 文彦（東京都赤十字血液センター）

首藤加奈子（神奈川県赤十字血液センター）

①献血者の鉄不足対策の検討

大久保理恵（神奈川県赤十字血液センター）

②若年者献血の管理、心拍変動を用いた自律神経解析からわかること

高橋 幸博（奈良県赤十字血液センター）

③モニタリングシステムによる失神を伴うVVRの実態と現場での対応

中居 賢司（岩手県赤十字血液センター）

④献血者とコミュニケーション

佐藤奈穂子（宮城県赤十字血液センター）

## WS4

## ワークショップ4

第3日目：10月4日（木）10:20～11:40 第2会場

## 次世代につなぐ献血推進

座長：井上 慎吾（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

阿久津美百生（栃木県赤十字血液センター）

①献血協力を通じて見えたことー献血対象の特性や変化に応じた活動をー

菅田 雅之（アサヒ飲料株式会社）

②学生による学生のための献血セミナー「自ら献血に行く」意識を高めるにはー

西山 翔太（平成30年度全国学生献血推進実行委員会委員長／北海道科学大学）

③検診医・所長として献血者を増やす

中川 國利（宮城県赤十字血液センター）

④献血推進・予約システム（CMS: Customer Management System）について

小島 聰（日本赤十字社血液事業本部）

⑤将来に向けた推進戦略

瀧川 正弘（日本赤十字社血液事業本部）

## WS5

## ワークショップ5

第3日目：10月4日（木）9：50～11：40 第3会場

## 製造部門における現状と課題、将来展望

座長：秋元 正浩（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

本間 稚広（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

①製造部門における現状と課題—大規模製造所の立場から—

下垣 一成（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

②製造部門における現状と課題—中規模製造所の立場から—

小砂子 智（日本赤十字社東北ブロック血液センター）

③新たな技術の導入「TACSI」について

佐藤えりか（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

④変革へ向けた新たな技術導入の提案

栗原 勝彦（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

⑤製造部門における業務体制の今後の方向性について

川島 航（日本赤十字社血液事業本部）

---

## ランチョンセミナー

---

第1日目：10月2日（火）12:00～13:00

---

ランチョンセミナー1（第2会場）

共催：テルモ BCT 株式会社

病院におけるアフェレーシスナースの役割—造血幹細胞移植を中心に—

演者：猪越ひろむ（千葉大学医学部附属病院輸血・細胞療法部）

高木 尚江（岡山大学病院看護部）

座長：池田 和眞（岡山県赤十字血液センター）

ランチョンセミナー2（第3会場）

共催：富士レビオ株式会社

我が国の肝炎ウイルス感染 最新の話題

演者：田中 純子（広島大学大学院医歯薬保健学研究科疫学・疾病制御学）

座長：佐竹 正博（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

ランチョンセミナー3（第4会場）

共催：株式会社イムコア

Building A Public Cord Blood Bank, Bone Marrow Donor Registry and Implementing NGS Solution  
— A Case Study（公共の臍帯血バンクの設立、骨髄ドナー登録と NGS ソリューションの適用事例）

演者：Srinivasan Periathiruvadi（Jeevan Stem Cell Foundation / National Apex Committee For Stem Cell Research and Therapy, Ministry of Health, Government of India）

座長：高梨美乃子（日本赤十字社血液事業本部）

ランチョンセミナー4（第5会場）

共催：シスメックス株式会社

HBワクチンに関する最新の話題

演者：四柳 宏（東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野）

座長：内田 茂治（日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター）

---

## ティータイムセミナー

---

第1日目：10月2日（火）15:00～16:00

---

ティータイムセミナー1（第3会場）

共催：フレゼニウスカービジャパン株式会社／  
株式会社ジェイ・エム・エス

Clinical Effectiveness on Transfusion of Platelets with PAS（PAS 置換血小板の輸血効果について）

演者：Dr. Pieter van der Meer（Sanquin Blood Bank, Amsterdam）

座長：柴 雅之（日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所）

ティータイムセミナー2（第4会場）

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

新興・再興感染症のアジアの現状について

演者：鈴木 和男（帝京大学アジア国際感染症制御研究所）

座長：佐藤進一郎（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

---

## ランチョンセミナー

---

第2日目：10月3日（水）12:00～13:00

---

**ランチョンセミナー5（第1会場） 共催：富士フィルム和光純薬株式会社／旭化成ファーマ株式会社  
糖尿病性腎症の診断と治療戦略—保存期から透析期まで—**

演者：阿部 雅紀（日本大学医学部腎臓高血圧内分泌内科）

座長：布施 一郎（新潟県赤十字血液センター）

**ランチョンセミナー6（第2会場） 共催：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社  
HIV感染早期発見をめざした検査アルゴリズムの進展**

演者：加藤 真吾（慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室）

座長：横幕 能行（名古屋医療センターエイズ総合診療部）

**ランチョンセミナー7（第3会場） 共催：グリフォルス  
Tackling Transfusion Transmitted Hepatitis: a focus on HBV and HEV（輸血感染への取り組み  
—B型肝炎、E型肝炎）**

演者：Jerry Holmberg, Ph.D. (Strategic Scientific Innovation, Grifols Diagnostic Solutions)

座長：佐藤 博行（長野県赤十字血液センター）

**ランチョンセミナー8（第4会場） 共催：ヘモネティクスジャパン合同会社  
洗浄血小板製剤の使用および副反応低減効果に関する検討**

演者：松岡佐保子（国立感染症研究所血液・安全性研究部）

座長：紀野 修一（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

**ランチョンセミナー9（第5会場） 共催：一般社団法人 日本血液製剤機構  
リンパ系腫瘍と免疫グロブリン**

演者：麻奥 英毅（広島赤十字・原爆病院血液内科）

座長：牧野 茂義（虎の門病院輸血部）

---

## ティータイムセミナー

---

第2日目：10月3日（水）15:10～16:10

---

**ティータイムセミナー3（第5会場） 共催：アボット ジャパン株式会社  
臍帯血移植の発展**

演者：内田 直之（虎の門病院血液内科）

座長：木村 貴文（日本赤十字社近畿ブロック血液センター）

---

ミニコンサート

---

第2日目：10月3日（水）17：20～17：50 第2会場

---

奏者：伊藤 優里（フルート）

岸本萌乃加（ヴァイオリン）

長田 健志（ヴィオラ）

三谷 野絵（チェロ）